

令和7年度 山野小学校グランドデザイン

学校教育目標

進んで学び、ともに高め合い、心豊かでたくましい山野っ子を育成する。

【キャッチフレーズ】

「花と俳句と読書」の学校

<伊佐市教育の基本方針>

- 時代を超えて変わらないもの、価値あるものを大切にする教育の推進
- 社会の変化を乗り越えることができる資質・能力育成
- 一人一人が幸せを感じることができる教育環境づくり
- 学校・家庭・地域・企業・各種団体等の相互連携・協力の強化
- 人権同和教育の推進
- 郷土の教育的な伝統や文化の活用と未来への継承
- 教育デジタルトランスフォーメーション（DX）の推進

【めざす子ども像】

一人でも大丈夫な子ども＝考える子ども

- （よく学ぶ子）
自ら学ぶ意欲をもつ子ども
- （やさしい子）
礼儀正しく、思いやりのある子ども
- （たくましい子）
あきらめず努力する子ども

【めざす学校像】

わくわくと安心の学校

- 一人ひとりが大事にされ、楽しく学び合い、学力定着が図られる学校
- 明るい笑顔とあいさつ、元気な声にあふれ、活力と躍動感に満ちた学校
- 家庭・地域の信頼と協力に支えられ、安心・安全で開かれた学校

【めざす教師像】

学ぶ楽しさを知る教師

- 職責感と使命感に燃え、豊かな人間性を備え、心身共に健康で明るい教職員
- 子どもに寄り添い、子どものよさや可能性を引き出し、ともに伸びる教職員
- 研究と修養の自己研鑽に努め、指導力向上と創意工夫を実践する教職員

確かな学力の定着（知）

《学ぶ楽しさを知る子ども》
○ 楽しい授業・分かる授業・深まる授業、子ども自身が考え、追究する授業づくりの工夫と改善
○ 各種学力検査における県・全国平均以上（この子のあと1問）

- ① 学力向上ACプランの策定と実践
・ 一人一授業、一研究の取組
・ 学習のしつけ（態度・物・姿勢）の徹底
・ タブレットの効果的活用
- ② 児童が主体的となる指導法の工夫
・ 多様な交流活動を取り入れた授業
・ 探求的な学習の推進（総合的な学習の時間を中心に）
- ③ 定着を図る個別指導の実施（8割）
- ④ 自学自習を目指す家庭学習（8割）
・ 低40～50分、中60～70分、高80～90分
- ⑤ 読書活動の充実
・ 本の世界を楽しむ子ども
- ⑥ キャリア教育の充実
・ 地域人材や資源の活用（8割）
・ キャリアパスポートの活用（10割）

思いやりと規範意識の育成（徳）

- 自他を認め合い、ともに学び合い切磋琢磨する子どもの育成
- 子どもの可能性を広げる教育活動の推進
- 自己決定の場の重視と達成感の蓄積による自己肯定感の向上

- ① 開発的生徒指導の積極的推進
・ 一人一出番、一役割と称賛、承認
・ 自分からあいさつ、返事の習慣化
- ② 規範意識と基本的な生活習慣の確立
・ 5つの「あ」（あいさつ・あつまり・あじわい・あそび・あるきかた）の徹底
- ③ 日常の児童理解の徹底と早期発見・早期対応（いじめ対策基本方針の活用）
- ④ 人権同和教育の充実
・ M（見つめる）O（思いをめぐらす）m（向き合う）の視点に立った教育活動の推進
- ⑤ 俳句づくりへの主体的取組
・ 作品等の投稿による称賛の場（10割）
- ⑥ 教児ともに取り組む活動の推進
・ 清掃活動・ボランティア活動

健やかな心と身体の育成（体）

- 主体的に運動と健康づくりに取り組む子どもの育成
- 向上心をもって何事にもチャレンジする子どもの育成（運動能力調査・全国平均以上各学年5/8種目以上）

- ① 運動習慣の確立
・ 運動量を確保した教科体育
・ かけ足、縄跳び等による体力づくりと自分の体の動きを知る運動の実践
- ② 規則正しい生活習慣の確立
・ 「早寝・早起き・朝ご飯」と「睡眠時間」の生活リズムの徹底（8割）
・ 全員登校日（欠席0）を目指す（7割）
・ メディアとの適切なかわり方
- ③ 健康診断結果に基づく治療率の向上（う歯治療率10割）
- ④ 安心・安全な学校づくりの推進
・ K Y T（危険知れ）指導の実施（7割）
- ⑤ 食に関する指導の充実
・ 思いやりと感謝の心の育成

開かれた学校づくり（連携）

- 学校・家庭・地域・関係機関との連携の推進
- 落ち着きと学びの環境が保たれた教育環境の充実

- ① 子どもの動線を意識した緑化・よさを伸ばす掲示物の工夫
- ② 学校だより、ホームページ等による積極的な情報の発信
- ③ 小中一貫教育における実践内容の確実な推進
- ④ P T Aと連携した活動の推進
・ 各種関連行事への参加（8割）
・ 校内環境の整備
- ⑤ 学校運営協議会、校区コミュニティと連携した活動の推進

山野小学校コミュニティ・スクール

- 学校・家庭・地域において「社会を担う子どもの育成」を共通の目標とし、共有と実践を図る。
- 人・組織・活動を「つなぐ（つながる）」のキーワードで、目標の具現化を目指す活動の推進を図る。